

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

潤いのある緑豊かな美しいながい再生計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

長井市

3 地域再生計画の区域

長井市の全域

4 地域再生計画の目標

長井の地名は「水の集まる所」に由来している。山々には、無数に沢が走り、市内を流れる置賜野川、置賜白川、最上川に注ぐ「水」の豊かな地である。

野川は長井市の水瓶として市民生活にとって重要な役割を担っている。この川は、朝日連峰の平岩山を源として広い流域から水を集めている。奥深い谷間の豊富な残雪は、少しずつ解けながらも夏まで水を蓄え、緑豊かな広大なブナ林は、保水力があり「緑のダム」の働きをする。さらに先人の努力によって建設された木地山ダムと菅野ダムが大事に水を蓄えている。

最上川は約 300 年前、上杉米沢藩の舟運をもたらした。藩の陣屋も置かれ商人町として栄え、上方との文化交流が始まった。そして、今の芸術、文化を愛する風土が生まれることになった。

その後も、豊かな水資源により、製糸業、電子産業が立地し、まちの基礎がつくられた。市街地には今も網の目のように水路が走り、昭和 30 年代までは家の中に水を引き、生活用水として活用していた。現在でも消流雪のための水路として活用されている。

市の水道は清流・野川の伏流水を取水しているので、とてもうまい水ともてはやされている。その河原では、山形の秋の風物詩・芋煮会が開かれ、仲間や家族連れの市民でにぎわっている。

また、市内各神社に伝わる黒獅子の幕には、さざ波の模様を取り入れたり、市の史跡である宍日上人の火伏せの水など深く水や川にかかわる伝統文化が根付いている。無意識の中に水の持つ奥深い歴史を心に刻みながら、今も「水のまちながい」として市民を中心にしたまちづくりを進めている。

このように私たちの住む長井は「水の長井」と呼ばれているように、美しい水環境が自慢のまちだった。しかし昨今、生活排水による河川等の汚れが問題になっており、本市ではこれまで中央地区を中心とする「公共下水道事業」、今泉地区と大久保地区で取り組んできた「農業集落排水事業」、そして、合併処理浄化槽の設置を希望する者のうち一定要件を満たしている者に対して補助金を交付する「合併処理浄化槽設置整備事業」の三本立てで

生活排水対策を進めてきたが、平成16年度末の汚水処理人口普及率は65.1%と低い水準にとどまっている。

このような状況に対処するため、公共下水道整備事業、浄化槽設置事業を組み合わせ、汚水処理施設の効果的な整備を図り、汚水処理人口普及率を向上させることにより、潤いのある緑豊かな美しいながいの再生を目指す。

(目標1)汚水処理施設の整備を促進する。

汚水処理人口普及率を65.1%から86.3%に向上する。

(目標2)野川のBODを1.7mg/ から 1mg/ にし、白川のBODも同様とし、

併せて最上川のBODを1.5mg/ から 1mg/ 以下に水質を向上させる。

5 目標を達成するために行う事業

5-1 全体の概要

長井市内全域における快適で清潔な生活環境の実現と、河川等の公共用水域の水質保全を図る上で重要な汚水処理施設整備を、交付金を活用して下水道と浄化槽により効率的に進めていく。

西根地区と成田地区の一部では、公共下水道(特定環境保全)で整備し、公共下水道・農業集落排水区域以外の長井市全域においては、浄化槽で整備を図っていく。

5-2 法第4章の特別の措置を適用して行う事業

汚水処理施設整備交付金を活用する事業

対象となる事業は、以下のとおり事業開始に係る手続き等を了している。なお、整備箇所等については、別添の整備箇所を示した図面による。

・公共下水道.....平成17年9月に事業認可

【事業主体】

・いずれも長井市

【施設の種類】

・公共下水道(特定環境保全)

・浄化槽(市町村設置型)

【事業区域】

・公共下水道(特定環境保全) 川原沢・中里地区、新町・仁府地区、
大沖・西館地区、宮内地区

・浄化槽(市町村設置型) 長井市全域(公共下水道・農業集落排水区域以外)

【事業期間】

・公共下水道(特定環境保全) 平成18年度～平成21年度

・浄化槽(市町村設置型) 平成17年度～平成21年度

【整備量】

- ・公共下水道(特定環境保全) 100 ~ 250 L = 20,909m A = 87ha
- ・浄化槽(市町村設置型)
 - 5人槽 219基(H17 27 H18 48 H19 48 H20 48 H21 48)
 - 7人槽 230基(H17 30 H18 50 H19 50 H20 50 H21 50)
 - 10人槽 11基(H17 3 H18 2 H19 2 H20 2 H21 2)

なお、各施設による新規の処理人口は下記のとおり。

公共下水道(特定環境保全) 1,460人 浄化槽(市町村設置型) 2,815人

【事業費】

・公共下水道(特定環境保全)	事業費	1,077,000千円 (うち交付金 538,500千円)
	単独事業費	704,000千円
・浄化槽(市町村設置型)	事業費	489,348千円 (うち交付金 163,116千円)
	単独事業費	62,302千円
合計	事業費	1,566,348千円 (うち交付金 701,616千円)
	単独事業費	766,302千円

5 - 3 その他の事業(支援措置によらない独自の取り組み)

・レインボープラン事業

市民と行政協働による域内バイオマスの有効活用により、生活系生ごみを堆肥化し、農地に還元し地力の向上と環境保全型農業を推進し、安全な食の循環を図っている。

・最上川フットパス事業

最上川の魅力的な場所と沿川の観光資源を小道や裏道などで結び、歩いて水辺空間やまちなかのいきづかい、歴史的な建造物を楽しむ事業を展開している。

・リサイクル推進グループ「清流」

きれいな環境づくりを目指し、リサイクル事業の推進と廃食油を再利用したせっけんを作っている。

・菜の花の村・未来づくりの会

自然と人々との共生を基本にし、豊かな自然環境を守り、安心して快適な生活が営める環境づくりに取り組んでいる。

・野川の自然を愛する会

「野川」の自然を愛護するボランティア活動を展開している。公共事業で整備された河川敷公園などの維持・整備活動に取り組んでいる。

・不伐の森に親しむ会

不伐の森に込められた「緑の地球、生命の源、森林を守り育てていこう。」という想

いと行動の輪を広げることを目的に活動している。

・「水辺で遊べるわらしこ広場」整備促進協議会

昔のように川で遊ぶ機会が少ない今の子供達に、川で遊ぶ楽しみと思い出作りの場を作ってあげたいという想いで、広場の整備と四季を通じた川遊びなどを行っている。

6 計画期間

平成17年度～平成21年度

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

4に示す数値目標に照らして毎年度末に状況を調査し、評価・公表する。また、必要に応じて事業の内容の見直しを図るため、地域再生計画に基づく実施計画を年度毎に策定する。

8 地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項

浄化槽整備計画については、既存の「長井市生活排水対策推進計画」に基づき検討したものであるが、一部掲載された内容が異なる計画としたため、次回の推進計画の見直し時に反映することとする。

(添付書類)

- ・地域再生計画に含まれる行政区画を表示した図面.....資料 - 1
- ・地域再生計画箇所図.....資料 - 2
- ・地域再生計画の工程表.....資料 - 3
- ・地域再生計画のイメージ図資料 - 4